

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁 魅力ある教会って?? (田辺教会)

3頁~8頁 中学生広島平和巡礼・  
高校生濟州体験学習 感想文

京都教区広報委員会  
編集長 村上透磨  
京都市中京区  
河原町通三条上る  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」〈無料〉  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

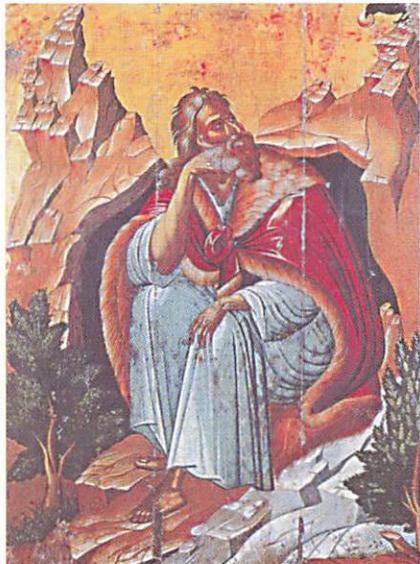
## 預言者のまなざし

〔信仰の批判的センス〕

キリスト者は、信仰による救済的知识のおかげで、明敏な判断能力が身に付き、神の愛に反するものを識別する直観的な感覚が養われていきます。これが、信仰のセンスの批判的次元で、預言者のまなざしに似ています。

2012年司教年頭書簡より

10  
2012



第二バチカン公会議開幕  
50年にあたって

## 信仰年 開幕ミサ

日時：2012年10月11日(木)  
午後3時

場所：カトリック河原町教会

シリーズ  
小教区

## 魅力ある教会つて?? (田辺教会)

### —国際的な交流を図る—

2012年度、田辺教会が所属する山城ブロックでは、「地域に対して福音宣教をしていく教会共同体となっていきましょう」という長期の宣教司牧計画を掲げています。また、中・短期宣教司牧計画の中では、「当地域におられる多くの多国籍信徒とその家族と共に協力しながら、地域共同体全員が福音宣教をするために奉仕していきましょう」「地域内他教会と積極的に交流をし、相互の信仰を深めましょう」というものを掲げています。もちろん、田辺教会もそれに沿って活動をして行こうとしています。



国際ミサ

一方、毎週金曜日には、昨年11月からフィリピン宣教会のエクソール神父のもとで、ミサ後に信仰の分かち合いが行われています。一つのグループは5~6名で五つのグループに分かれます。各グループにはリーダーを1人置き、進行はリーダーが決めた司会者が行います。各グループではキリストのシンボルであるローソクに火を灯し、父である神に沈黙の中で祈ります。分かち合いは福音がどのように心に響いたかを分かち合いまる信者は、「教会の魅力はミサに

ができるでしよう。今年のブロック行事として巡礼ツアーや山右近列福祈願巡礼」が実施される予定です。皆で楽しい時間を過ごして祈りながら、信徒間の相互の信仰を深めること

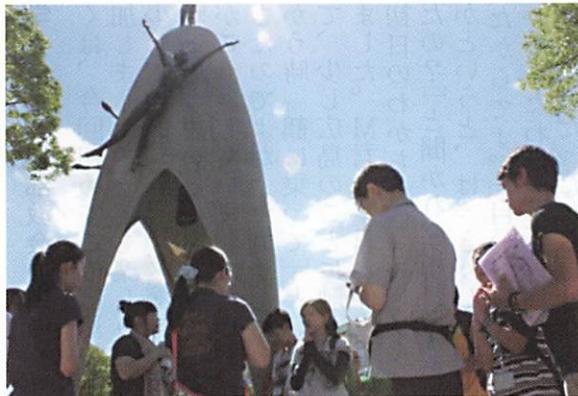
具体的には国際的な交流を図る上で、今年の復活祭に国際ミサとパーティが田辺教会で行われました。その復活祭の参加者があり、参加された方々の笑顔が非常に印象的でした。そして皆さんを眺める福岡神父のほほ笑むお顔が忘れられません。今後も、第5週目の主日に国際ミサが行われていく予定で、ますますよい交わりができるのではないか。さらに、教会間の交流を図る目的で、企画が立てられており、この11月には「高

あづかれることが」と言われました。まさにその通りで、毎週金曜日に行われている分かち合いは、御言葉が体にしみわたることが体感できる良い機会となつていいのではないでしょうか。また、ある方が「初めて田辺教会を訪れ、何も分からず不安な気持ちでいたところ、ミサ当番の方がそつとサポートして下さり、これからもこの教会に来ようと思いました」と言わっていました。初めて訪れた方にとつては、所作を含め、教会は戸惑うことが多いと思います。そういった方たちに対して、教会の信徒がそつと寄り添いながらサポートするというそんな当たり前のことが、すぐに出来るさり気ない福音的な思いやりを大切にしたいものです。



信仰の分かち合い

中学生広島平和巡礼 感想文



中学3年生 河原町教会 松本 マリ  
私は中学3年生ですが、今回が初めての巡礼でした。これまでにこのような機会がなかったので、とても楽しみでありました。緊張しました。広島に行くのも初めてで、写真でしか見たことのなかった原爆ドームや平和記念資料館の展示品を見ることも、楽しみというか、そうでないけれどぜひ見たいと思っていました。

た。町並みはどこか京都に似ていて、普段からなじんだ雰囲気の景色のように感じました。銭湯に行って、温かい温泉につかってのんびりできた時、本当にこの場所に原子爆弾が落とされたのだろうかと不思議な気持ちになりました。今はとても平和だなと感じました。

に埋もれて横たわっている男の人、すべ  
てが想像を超えた悲惨な姿で、胸が詰ま  
るような思いになりました。なかでも焼  
けたれ、皮ふが溶けて体中からたれ下  
がっている人々のジオラマを見たことが  
深く印象に残っています。原爆が投下さ  
れて焼け野原になつたヒロシマの本当の  
様子は、ジオラマよりももつともっと激  
しかつたと思います。それでも“戦争”  
を知らない私にとって、ジオラマだけで  
充分つらい気持ちになりました。思わず  
目を背けたくなるようなジオラマを見  
て、きっと私には戦争の時代に生きてい  
た人々の眞の気持ちは分からなかもし  
れないと思いました。何も考えたくない、  
しんと静まり沈んだ気持ちを思い出しな  
がら、平和行進をしました。色々な団体

があつて、なかには私たちを批判する集団の人々もいて、耳を塞ぎたくなつたりしたけれど、みんなで歌つて歩いていくのは思つていたよりも楽しかったです。

私は積極的な性格ではないので、京都に帰つてからも平和行進のような運動をすることはないと思います。でも、この3日間の大切な経験を心に留めながら、日々の生活を一生懸命頑張つて過ごすことが一番身近にできる、重要なことだと思います。それから毎年8月6日、9日、15日へのお祈りを大切にしたいと思いま



中学2年生 綾部教会 山中圭

ぼくは、今回初めてこの広島平和巡礼に参加しました。とても楽しみだつたけれど、少し不安でした。「友達はできるのか?」という思いと「楽しそう」という思いがこうさしていました。でも、友達もできたのでよかったです。バスで広島に向かう時「鶴に乗って」というアニメを見て、少し広島のこと觸れることができました。M君やY君と仲良くなれたし、初日のわかれ合いで、「なんで広島にきたの?」と聞かれ、正直悩みました。なぜかというと、はっきりした理由がなかつたからです。「自分で行きたい!」と思つてきたわけではなく、「教会に言われたから」だつたからと言うことができました。これを考えたことによつて、改めて「がんばるぞ!」と思いました。

少しとけこめるようになり、ワクワクしてのぞんだ2日目はとても暑い日となり、倒れる人もいたほどでした。碑めぐりは、韓国の犠牲者の多さにおどろき、申し訳ないと思つた。「日本が戦争なんかしなければ:韓国の人々をつれてこなければ:」と思つた。しかし、そんなことを思つても過去は変わらないので「こんなことはもう二度としないようにしたい」と思つた。資料館では、原爆がいかに悲劇をもたらしたか、どれだけ怖いもだつた。やっぱり「核は人を悲しませるだけで一利もない」ということが分かり



ました。ぼくは「世界はなぜ、こんな最悪の兵器を持つのだろうか？ 何の利もないのにどうして持ちたがるのか？」と疑問がうかびました。その後の平和行進で「核武装すべきだ!!」と言っている人たちがいました。ぼくは、いろいろな考

中学1年生 唐崎教会 永井絵美梨

のことなどを知ることが出来たので良かったです。とても、内容の深い3日間だったと思います。自分でも、とても心から楽しめました。できれば、来年ももっといい考えが持てるようにしたいと思します。

初めての京都教区中学生広島平和巡礼の中で、一番心に残っていることは、平和記念資料館見学です。資料館の中に、平被爆した人の写真などが、いろいろ、かざつてありました。その中のてんじしてた服などをみて、なぜ、人間は戦争をするのか？と思いました。戦争は、人をころすことで、人をころしても、意味がないと思い、戦争は、バカラしく思いました。そこから、黒い雨のあとや、人がとけてかけになつている階段などを見ました。思つたことは、とけて、かけになつている人は、自分の家族にあえないまになつてしまつて、あとざんこくな死にかただつたので、かわいそうに思い、そしたら、なぜだか、心の中がズキズキしました。黒い雨は、ほうしやせんなどがふくまれていてことを、はじめて知りました。小学6年で広島のことを行なった。小学6年で広島のことを行なった。そこまでこまかく、くわしくかいていませんでしたので、広島の黒い雨のことのちしきを、もう一つ知つたので、少しうれしかつたです。

とが資料館のせつめいのところに書いてあって、くわしくわかりました。資料館で、戦争のこわさをしり、今のこの時代は、平和で、よかったですと思いました。

## 高校生済州体験学習 感想文

高校1年生 彦根教会 松坂まりあ

私は、済州に5泊6日の合宿に来て、とてもいい経験になりました。私は、この高校生会の夏合宿は韓国、済州にいくと、前から聞いていたので、とても楽しくみにしていました。とくに、国際交流ある「世界を愛する青少年」という青年で信仰大会に行つて、現地の人たちと仲良くなることを楽しみにしていました。

そして、済州に行く当日、前から知っている高校生会のメンバーと、初めての人が2人増えて、いつも通り高校生会の人たちはとても優しいし、明るい人たちなので不安はまったくありませんでした。

1日目、ホーメスティイでは、ステイ先で、とくに見なれないハングル文字の看板、車道が日本と逆の右側通行がとても新鮮に見えました。

1日目のホーメスティイでは、ステイ先のお母さんの家で夕飯を食べました。初めての韓国料理は、とにかく辛くて、お母さんのお母さんの家で夕飯を食べました。お母さんのお母さんのお母さん、うがらしがすべての料理に入っているかと思うほどでした。さすが、韓国だ

思いました。家が近いステイ先の高校生会の人たちといっしょに、食卓を囲むのはとてもたのしかったです。

2日目、ミサに行って姜司教様にお会いしました。司教様に、日本の自分の教会の事を話したりして、司教様が日本語がお上手なのにはびっくりしました。その後、閉幕ミサは、とにかくさみしいました。記念館に行きました。山登りはつづきましたが、頂上からの景色は最高でした。記念館は、すごく済州的印象が変わりました。今済州を見ると、そんな風には見えませんでした。

3日目、午前中は博物館と三性穴、ミステリーロードなど、歴史や観光を楽しみました。そして、午後は青年信仰大会



4日目、午前はプログラムで、「性文化」と「青少年文化とメディア中毒」でした。すごく勉強になりました。午後からは神学生の人たちが考へてくれた、ウォークラリーをしました。そこで、チームとの団結が強くなったり、同じグループだけでなく、他のグループの友達ができたりして、暑かったけど楽しかった。ミサは、すごく青少年向きにアレンジされていて、司教様もいて、明るくて、華やかでした。また、日本でも、あってほしいと思いました。

5日目、閉幕ミサは、とにかくさみしかったです。神父様や神学生からネックレスをもらつたとき、本当にいい思い出になりました。本当に、青年信仰大会に行つて、いろいろな人たちに出会つて、良かったと思いました。これで最後にしたくないなと思いました。なので、できれば次も来たいと思いました。ネックレスは、それまで、なにかみんなを繋いでいる下さいです。

最後に、私は、韓国は私がもつていたイメージとはまったくちがつていて、と

ても、明るくて、信仰に熱心で、ミサの規模が大きくて、大好きになりました。次に会った時は、もっとコミュニケーションがとれるように韓国語を覚えたいと思いました。

### 高校3年生 河原町教会 澤村 真理



今回、この合宿に参加できて本当に良かったです。

私は二年前にも濟州を訪れていました。その時にお世話になったホストファミリーや神学生の方にもまた、会うことができて嬉しかったです。行きの飛行機の中で韓国語で「久しぶりですね」という意味の「オレンマニエヨ」を練習しました。

みんなを見守るポジションだった私としては安心しました。もちろん、一番樂しんでいたのは私だと自信を持つて言えます。

でも、やはり最初は不安でした。ホストファミリーとも、濟州の中高生とも言葉は上手く通じません。それでも、濟州の人たちは温かく私たちを受け入れてくれて、英語とジェスチャーで一生懸命伝えてくれました。時々、日本語で話しかけてくれたのが、とても嬉しかったです。もし、濟州の人たちが京都を訪れた時、私たちはどのように歓迎することができるかなと考えながら過ごしていました。

青少年大会には、およそ700人もの中高生が集まり、ミサをしました。私はこんなにたくさんの人と一緒にミサにあずかるのは初めてです。バンドが演奏して歌ったり、ダンスをしたり、こんなに楽しいミサも初めてです。これは、濟州教区の人たちの強い信仰心があつてこそできるものだと思います。700人の声が一つになつたとき、私は感動して心が震えました。そして、いつか京都教区でもこんな素敵なお寺がしたいと思いました。そのためにも、これから私たちはもっと濟州教区とたくさんの人たちとの交流をしていきました。

いきたいです。

本当に素敵な時間を過ごすことができて嬉しいです。ありがとうございました。いつかまた、濟州に行きたいです。そして、たくさん的人に「オレンマニエヨ」と言いたいです。

### 高校2年生 西舞鶴教会 小林まゆか



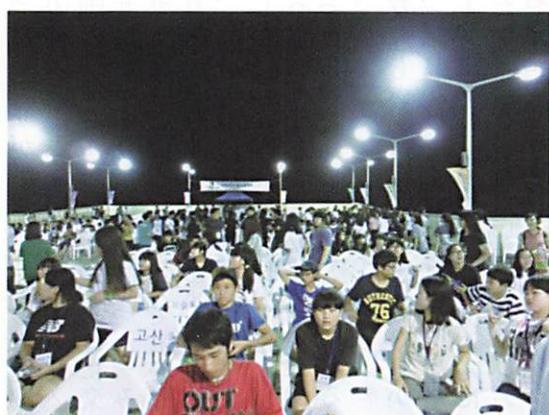
私は、韓国に来たのは初めてでした。だから、初めは不安ばかりでした。英語がしゃべれないのに、韓国語の人とどうやってコミュニケーションがとれるのかと思いましたが、青少年信仰大会の会場に行つてみると、知っている日本語やジェスチャーで話してくれる人がたくさんいました。

話しかけてくれて、うれしかったです。今まで日本語で名前を書いてくれたり、何度も英語で名前を書いてもらいました。でも、名札のハングル文字の下に英語で名前がなかなか覚えられなくて大変でした。それでも、名札のハングル文字の下に英語で名前を書いてもらいました。みんなでおどり、第一朗読曲になっているミサは初めてだったのが、名前がなかなか覚えられなくて大変でした。

『FESTIVAL』の盛りあがりもすごかったし、何も準備もできてなかつた私たちの出し物でも、一生懸命に盛りあがつてもらえてうれしかったです。濟州に来る前からも、来てからも不安がいっぱいだつた合宿でしたが、それ以上にうれしく思えることがたくさんありました。帰る時に泣いてくれるリーダーさんがいたり、手紙を書いてくれた友達ができました。かたことの英語やジェスチャーでしか会話できなかつたけど、お互い必死で伝えようとがんばつて、楽しいキャンプをすごすことができました。同じグループに日本人がいたら、きっとこんなに友達ができなかつたと思いません。だから、みんなバラバラで少しさみしかつたけど、良かったです。今回友達になつた子と、これからも連絡をとりたいと思います。楽しい合宿でした。ありがとうございました。



高校1年生 伊勢教会 濱口 桃子



語もペラペラじゃないから、沢山の言葉の壁があつた。ミサも韓国語。3日目に参加した済州教区のキャンプのレクリエーションの説明も、何もかもが韓国語だつた。けど、京都教区から一緒に来たメンバーに助けられ、5日間過ごすことができた。ホームステイ先ではママもアンナさんも、優しく、おもしろくて、ホームステイ2日目の夜は、暗い中、ママが私の手を握つて夜道を歩いてくれた。その優しさに、すごく温もりを感じて、ずっと不安で仕方なかつた気持ちが一気にほぐれたような気がした。キャンプでは、京都教区のメンバーなしの韓国の人たちの中にたつた一人でほうりこまれ、正直、「もう楽しくないやん」と思った。けど、一人きりでも大丈夫な

くらいの班の人たちは優しくて、ジェスチャーや英語を使って、私が理解できるまで丁寧にレクリエーションのやりかたなどを教えてくれた。言葉の意味は分からなかつたけど、韓国の人たちの言葉のやりとりは、いつもとても楽しそうで、自分も話しているような気分になつた(笑)。キャンプ2日目のフェスティバルは、正直「もう失敗や」って思つていたけど、韓国のみんなが、もりあげてくれたて、1番の歌詞だけで終わる予定だったこ「ミスター」もフルコーラスで楽しむとができた。

韓国で過ごす1日、1日はハードスケジュールだったけど、本当に楽しくて、夏休みのサイコーの思い出になつた。



いいっぱい笑つて、いっぱい疲れて、いっぱい怒つて、いっぱい考えて、濟州で感じる一つ一つがとても貴重な体験となつた。去年、中学生会で広島に行つたときに出来た友ダチにも再会することができたし、本当に素晴らしい体験となつた。

もしまだ、もう一度韓国に行く機会があるならば、そのときも参加したいと思う。

最後に、韓国に行くために沢山の準備をしてくれた夫神父様、柳本神父様や分からぬ韓国語を通訳してくれたスペイン先生。バスを運転してくれた運転手さんをはじめ、私が濟州に行くために協力をしてくれたすべての方に感謝しています。ありがとうございました。

**高校1年生 西院教会 粟井 隆**

テーマは「世界を愛する青少年」だから、日本人以外にも世界中から学生が来ると思つてた。行ってみて、ものすごい人がいたけれど、それは全部、韓国人だった。しかも、全員、濟州の中高生だった。濟州は大阪府ほどの大きさだと聞いていたけれど、その中で、あんなに人がいるとは思わず、聞いた以上にカトリック信者が多い島だと感じた。

今回初めて会つた人もいたけど、京都教区の人とは、すぐに打ちとけられた。現地では日本人12人が全員バラバラになつて各班にふりわけられて、とても不安だったけど、しゃべるうちに楽しく

なつた。ミサがポップな感じで進み、日本の神父さんと違い、ミサ中ノリノリの韓国のお神父さんを見て、こんなに楽しいミサは久しぶりだなあと思った。みんながカトリック信者で、大勢で歌をうたつたり祈つたりすると、うまくいえなければ、心が一つになつた感じがしてゾクゾクした。こんな体験は初めてだし、このようない交流をもっと大規模、世界規模でやつたら、もっといいものになると思う。

友達もいっぱいできてうれしかったし、話しかけてくれた韓国の学生やりーダー、京都教区の仲間、神父さんに感謝したい。書ききれない程、いろいろな体験や発見ができました。カムサ・ハムニダ。



## 10月のお知らせ

## 教 区

**福音宣教企画室**／Tel.075(229)6800  
**典礼研修会「ミサの学び」**から典礼奉仕へ  
 日 時：23日㊂ 13:30～15:00

**聖書委員会**／Tel.075(211)3484 ㊂㊂  
**聖書講座「信仰に生きる—典礼暦に沿って—」**  
 日 時：10日㊂ 19:30／11日㊂ 10:30  
 テーマ：キリストの聖体  
 講 師：白浜 満師(サン・スルビス会)  
 日 時：24日㊂ 19:30／25日㊂ 10:30  
 テーマ：年間の主日1  
 講 師：村上 透磨師  
**よく分かる聖書の学び**  
 日 時：17日㊂ 10:30  
 講 師：北村 善朗師  
 参加費：300円

**信仰教育委員会**

**青年黙想会「現代世界憲章」を読む**  
 日 時：11月9日㊂ 19:00～10日㊂ 16:00  
 場 所：ノートルダム唐崎修道院  
 講 師：奥村 豊師  
 対 象：青年男女／参加費：2,500円  
 締切り：10月28日㊂(事前申込要)  
 申込み：Fax.075(841)1040 西院教会

## 地区協議会

**奈良カトリック協議会**

**聖書講座—信仰の源としての創世記一**  
 日 時：12日㊂ 19:00 大和八木教会  
           13日㊂ 10:00 奈良教会  
 テーマ：創世記における女性たち  
 講 師：鈴木 信一師(聖パウロ会)  
 日 時：26日㊂ 19:00 大和郡山教会  
           27日㊂ 10:00 奈良教会  
 テーマ：ヤコブの息子ヨセフ(ヨセフの物語)  
 講 師：ザビエル・スサイ師(神言修道会)

## ブロック・修道会

**男子カルメル修道会(宇治修道院)**

**聖書深読黙想会(新井 延和師)**  
 日 時：6日㊂ 10:00～16:00  
 参加費：2,000円(食事込)  
**社会人のための靈的同伴(松田 浩一師)**  
 日 時：12日㊂ 20:00～13日㊂ 15:00  
 参加費：5,500円(宿泊・食事込)  
**一般のためのカルメル靈性入門(松田 浩一師)**  
 日 時：14日㊂ 17:00～15日㊂ 16:00  
 テーマ：イエスの聖テレサの靈魂の城の導入  
 参加費：6,500円(宿泊・食事込)  
**水曜黙想(松田 浩一師)**  
 日 時：17日㊂ 10:00～16:00  
 テーマ：終生おとめ聖マリア  
 参加費：2,700円(昼食代他)

## テレジアは現代に何を語るか(中川 博道師)

日 時：20日㊂ 14:30～16:00  
 テーマ：「靈魂の城」に聴きながら  
 場 所：カトリック会館6階  
 参加費：無料

**聖ドミニコ女子修道会(京都修道院)**

## みことばを聴こう！

日 時：13日㊂ 9:30～16:00  
 テーマ：信じるということ  
 指 導：北村 善朗師  
 対 象：青年男女／会 費：500円(昼食代)  
 締切り：8日㊂(事前申込要)  
 申込み：Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573  
**ロザリオを共に祈る会**

日 時：19日㊂ 10:30～12:00

**ノートルダム教育修道女会(唐崎修道院)**

## 召命黙想会&lt;信じます&gt;

日 時：13日㊂ 15:00～14日㊂ 15:30  
 テーマ：わたしをお助けください  
 指 導：山内 十束師(御受難会)  
 対 象：独身女性信徒／費 用：2,000円  
 締切り：7日㊂(事前申込要)  
 申込み：Tel.077(579)2884 Fax.(579)3804

## 諸 団 体

**京都カトリック混声合唱団**

練 習：14日㊂ 14:00／27日㊂ 18:15ミサ奉仕後  
 カトリック会館6階

**コーロ・チェレステ(女声コーラス)**

練 習：11日㊂ 13:00／25日㊂ 10:00 カトリック会館6階  
 心のともしび 番組案内  
 テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス  
 每週土曜日 朝 7:45  
 植村高雄氏(心理療法家)による  
 シリーズ「元気に生きる」  
 ラジオ(KBS京都) ㈪～㈯ 朝 5:15  
 10月のテーマ「祈りのとき」

**聴覚障がい者の会**

典礼の手話表現 学習会：カトリック会館6階  
 10月2日㊂／11月6日㊂ 13:00(聖書と典礼)

**京都南部ウォーカソン**

日 時：11月3日㊂ 10:00～14:30  
 受 付：8:45～9:30 河原町教会  
 コース：河原町教会から鴨川沿い往復  
 寄付先：東日本大震災被災地、  
 ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト支援

**京都教区サポートセンター**

東日本大震災「大船渡支援」献金報告  
 8月分 900,256円／累計 15,898,484円

**ボランティア募集中**

詳細は京都教区ホームページをクリック

京都教区

検索

※ 12月号の原稿締切り日は10月24日㊂です。

## 大塚司教の

10月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



4日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会

5日(金) 10:00 2012年度 特別臨時司教総会

7日(土) 大阪教会管区大船渡ベース訪問  
(9:30 ミサ 大船渡教会)11日(木) 10:00 司教顧問会 司祭評議会  
15:00 信仰年 開幕ミサ(河原町)12日(金) 11:00 大阪教会管区 司教會議  
(大阪大司教館)13日(土) 10:00 聖母のちいさな学校  
スポーツフェスタ14日(日) 11:00 「アパレシーダの聖母」  
ポルトガル語ミサ(上野)

15日(月) 10:00 教区付き司祭集会

18日(木)-19日(金) 「求道者に同伴する信徒」  
養成講座21日(日) 14:00 大和高田教会 創立60周年  
感謝ミサ22日(月)-31日(水) 右近列福祈願  
司教団公式巡礼

## YES 2012のお知らせ

みなさん、YESって知っていますか？？  
YESという人もNOという人も、こんな集まりを是非知って下さい☆

YESとは、

Y: Youth(若者)

E: Encounter(出会い)

Enjoy(楽しむ)

Exchange(交流)

S: Space(場所)

の頭文字をとって名付けられ、京都教区の青年の交流の場として、毎年1回開催されています！

今年のテーマは「Hon ne cafe」。ジョバニをご覧になって下さっている方は、このテーマに見覚えがおありになるんじゃないでしょうか(笑)

さて皆さん、「分かち合い」をしたことはありますか？ 議論や討論と、近いものはある

かもしれません。基本的には数名で、一つのテーマを分かち合って自分の思ったことを交わし合ってみたりするのですが、今回はなんと、一対一での分かち合いを企画してみました！どんなテーマで分かち合っていくのかはお楽しみです☆少人数で、じっくりがっつり「本音」で語り合ってみませんか？

開催日は11月10日(土)～11日(日)場所は未定ですが、青年センターのHPに追って掲載いたしますので、是非チェックしてみてくださいね♪

